

4.8.1

福祉のつどい 大総小域圏福祉ネットワーク

おじいさん おばあさん

いつまでも いづまでも

長生きしてね



おじいさん、おばあさん わたしたちの歌聞いてね

「おじいさん、おばあさん、いつまでも健康で長生きしてください。」と、子どもたちからのメッセージが渡されました。

これは7月4日、大総小学校（井上秀次郎校長）と大総小域圏福祉ネットワーク（小関喜保会長）の協力によって行われた「福祉のつどい」のようすです。

当日は、梅雨の合い間の天候に恵まれ、スポーツなど行

うには絶好の日和となりました。そして、子どもたちと一緒に楽しもうとグラウンドゴルフが行われました。子どもたちは初めての体験とあって、ステックの持ち方からいねいに教えてもらい「おっ、いいあたり。3回ぐらいで入るかな」と、それはそれはにぎやかで



子どもたちとグラウンドゴルフ、とても楽しそうでした。

夏の海は準備OK!

安全で快適な海水浴を楽しんでもらおうと、7月4日に婦人会やボランティアの方々を中心となり、屋形海岸の清掃を行いました。



海の無事故を願って

子どもたちは曲にあわせて歌い、また、おじいさんおばあさんは当時に懐かしく思い出し感慨にひたっていました。

そんな中、外では、朝早くから栄養改善推進員などのみなさんに



子どもたち、そして鼓笛隊のみなさんに大きな拍手

よって、お年寄りのみなさんをもてなそうとおもちが作られ、お昼にはあんころ・からみもちなどつくしたてのおもちが、次々と配られました。午後からは、県の

無形文化財に指定されている『しらすの踊り』や舞踊などが披露され、終日、楽しいひとときを過ごしました。